

教員養成に係る教育の質の向上に係る取組

○中等教育教諭養成教職課程

本学では、関係学部及び研究科の教務委員会との緊密な連携のもと、全学的な組織である「中等教育教諭養成教職課程運営委員会」が設置され、教職課程に関わる全学的な事柄に関して研究協議するとともに、必要事項を建議し、本学教職課程の運営の活性化と円滑化が図られている。また、教職課程の日常的な業務については、共通教育部・教職教育部門（教員）と教育支援センター（事務職員）がその任に当たっている。

本学の中等教育教諭養成教職課程では、教員採用試験の現状を考慮し、できるだけ中一種免と高一種免の両方を取得するよう指導している。また、中・高校での教育経験が豊かな教員を「教育講師」や「非常勤講師」として雇用し、正規の授業科目はもちろん、「教員採用試験対策ゼミ」（後述）を設け、教員をめざす学生たちの学修を支援している。

教員養成に係る教育の質の向上に係る取組としては、4年次の教育実習前に1泊2日の合宿形式で集中指導を行っており、さらには、そうした合宿を学生自身が企画、運営をすることで、そこでの経験を「校外学習指導」等に応用できるよう工夫している。また、「9年間の義務教育（小中一貫教育）」や「中高一貫教育」への対応も視野に入れ、3年次に近隣の小・中学校で「1週間の観察実習」を行い、教職に対する興味・関心、自分の資質や適性などを確認させた後で「4年次の教壇実習（2ないし3週間）」を実施するようにしている。

教育実習中は、学科の教員および教職部門の教員が実習校に赴いて指導を行っている。実習後は、学生が学習指導や部活動指導あるいは特別支援教育に関わるボランティアを依頼されることも多く、各学校との信頼関係を大事にしながら、積極的に教育現場に関わり続けるように指導している。なお、こうしたボランティア活動は「共通教育部・教職教育部門」が仲介し、学生への事前事後指導も行っている。

教職への進路相談・指導に関しては、共通教育部・教職教育部門が教育支援センター、キャリア支援センターなどと情報共有をしながら進めている。学生の疑問や相談には随時、対応するとともに、教職志望者には2年次から必要な支援をし、3年次後期までに専門教養・教職教養の学習指導を行っている。3年次後期からは、「教員採用試験対策ゼミ」（自主ゼミ、週3回程度）を開講し、基本的な作文技術から、文献講読、場面指導、模擬授業、面接、履歴書の書き方まで幅広く指導し、採用試験対策のみならず、社会人としての資質の向上に務めている。

○幼稚園教諭養成教職課程

人間科学部児童学科には、幼稚園教諭養成課程ならびに保育士養成課程が設置されており、ほとんどの学生が卒業時に「幼稚園教諭一種免許状」あるいは「保育士資格」を取得している。学部の教育課程は、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格の取得に必要な専門科目とともに、知識に偏重しない「子育て支援」、「生活と自然」、「異文化理解」、「児童文化」、「自己表現」に関わる多彩な体験プログラムを提供し、次世代の保育者に欠くことのできない優れた保育力、実践力を培うことを目指している。

幼稚園教諭養成について、幼稚園における教育実習は、2年次後期の2月に1週間の観察実習、3年次後期の2月に3週間の責任実習を行なっている。2年次の幼稚園教育実習指導（1）においては、5日間の観察実習に向けて、幼稚園や認定こども園に関する知識や児童理解の方法、実習日誌の書き方等についての事前指導を行い、実習後には学生一人一人との面談を含む事後指導を行なっている。教育実習指導（1）に対応する教育実習（1）において、学生は幼稚園・こども園において5日間の観察実習を行い、現場で幼稚園教諭、保育教諭の仕事について学ぶ。3年次の幼稚園教育実習指導（2）においては、3週間の責任実習に向けて、職業倫理、指導計画の立て方、実習記録の付け方等について事前指導を行い、実習後には学生一人一人との面談を含む事後指導を行なっている。教育実習指導（2）に対応する教育実習（2）において、学生は幼稚園・こども園において3週間の責任実習を行い、幼稚園教諭、保育教諭としての責任を伴う現場実習を行う。4年次の後期に配される「保育・教職実践演習（幼稚園）」においては、教職課程に関わる専門科目の修学状況を振り返る毎学年の履修カルテを活用しながら、現職の幼稚園教諭の講話を聞き、幼稚園教諭としての自己の資質や課題についての自覚を促している。

本学科は、体験を重視したカリキュラムを編成するとともに、保護者や地域との連携を重視し、幼児教育や保育に携わる専門職人材の育成に務めている。学内組織においては、実習の適正な運用を期して各分野の専門教員からなる実習委員会を編成し、また、学生の実習派遣に際しては実習業務に特化した実習指導室との連携を図りながら学生のサポートを行っている。また、教員会議においては教員間での情報共有を密に行い、全教員体制で教員養成に係る質の向上に務めている。